

地域振興 事業

地域振興事業は、観光の開発等を行うことにより地域の振興に寄与するため、昭和52年4月から事業を開始しました。

昭和58年度には、子どもからお年寄りまで全ての人々が楽しめる総合スポーツ・レクリエーション施設「丘の公園」の建設に着手し、昭和61年7月から営業を開始しました。また、平成2年7月には、第2期工事として増設したゴルフ場9ホールをオープンし、さらに、平成8年4月には、公園内に湧出した温泉を有効活用した温泉利用施設「アクアリゾート清里」を開設するとともに、パターゴルフ場及びオートキャンプ場の整備を行い、オープンしました。

平成6年4月には、県農政部で実施した「まきば公園」の建設に併せ、「まきばレストラン」をオープンしました。

平成16年4月からは、まきばレストランを含めて「丘の公園」と位置づけるとともに、指定管理者制度及び利用料金制を導入し、指定管理者が管理を代行しています。

丘の公園の概要

ゴルフ事業

八ヶ岳のふもとの豊かな自然の中に富士山コース、駒ヶ岳コース、八ヶ岳コースの計27ホールを有しています。



所在地	北杜市高根町清里3545-5
施設の名称	丘の公園清里ゴルフコース
面積	1,035,844㎡
施設の内容	ゴルフ場 27ホール (パー108) ゴルフ練習場 18打席、180m レストラン 655㎡(96席、コンパルーム56席) 駐車場 220台

レジャー事業

公園内に湧出する温泉を利用した展望風呂や温水プールなどを有するアクアリゾート清里をはじめ、オートキャンプ場やテニスコートなどを運営しています。

平成27年度には、山梨県内で初となる公益社団法人日本グラウンド・ゴルフ協会認定のグラウンド・ゴルフ場を整備しました。



グラウンド・ゴルフ場



オートキャンプ場



温水プール



天女の湯

所在地	北杜市高根町清里3545-5
施設の名称	1. アクアリゾート清里 (29,406㎡) 2. オートキャンプ場 (15,345㎡) 3. その他 (162,062㎡)
面積	206,813㎡
施設の内容	1. アクアリゾート清里 (温泉利用施設) 2. オートキャンプ場 (テントサイト、ケビン) 3. その他 レジャーハウス等

レストラン事業

平成6年4月、県農政部で実施した「まきば公園」の建設に併せ、既存のレストハウス「天女」をリニューアルし、「まきばレストラン」としてオープンしました。

八ヶ岳、富士山、秩父山系、南アルプス連峰の360度の美しいパノラマが広がり、前庭はヒツジやポニー等と触れ合える、県立まきば公園となっています。



所在地	北杜市大泉町西井出8240-1 (まきば公園内)
施設の名称	まきばレストラン
面積	5,835㎡ (まきば公園 16,917㎡の内、企業局分)
施設の内容	レストラン棟 96席 [鉄骨平屋 819.8㎡ (内企業局分 558㎡)] 駐車場 普通車 73台 大型車 4台 臨時 100台

企業局経営戦略

(平成28年3月29日策定)

現在、人口減少や少子高齢化、施設の老朽化や電力システム改革の進展等、企業局を取り巻く社会経済情勢は大きく変化していますが、引き続き地方公営企業として事業を展開していくためには、自らの経営等についての的確な現状分析を行った上で、中長期的な視野に基づく計画的な経営に取り組み、徹底した効率化、経営健全化を図っていくことが重要です。

このため、企業局の今後のあり方を展望しその道筋を示すため、経営の基本計画である「経営戦略」を平成28年3月に策定し、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図ることにしました。

■計画期間：平成28年度～平成37年度（10年間）

■概要：企業局の現況と各事業の課題等を踏まえ、企業局の「あるべき姿と果たすべき役割」を示し、電気、温泉及び地域振興の各事業の今後10年間の経営方針と事業計画を定めました。

■企業局のあるべき姿と果たすべき役割

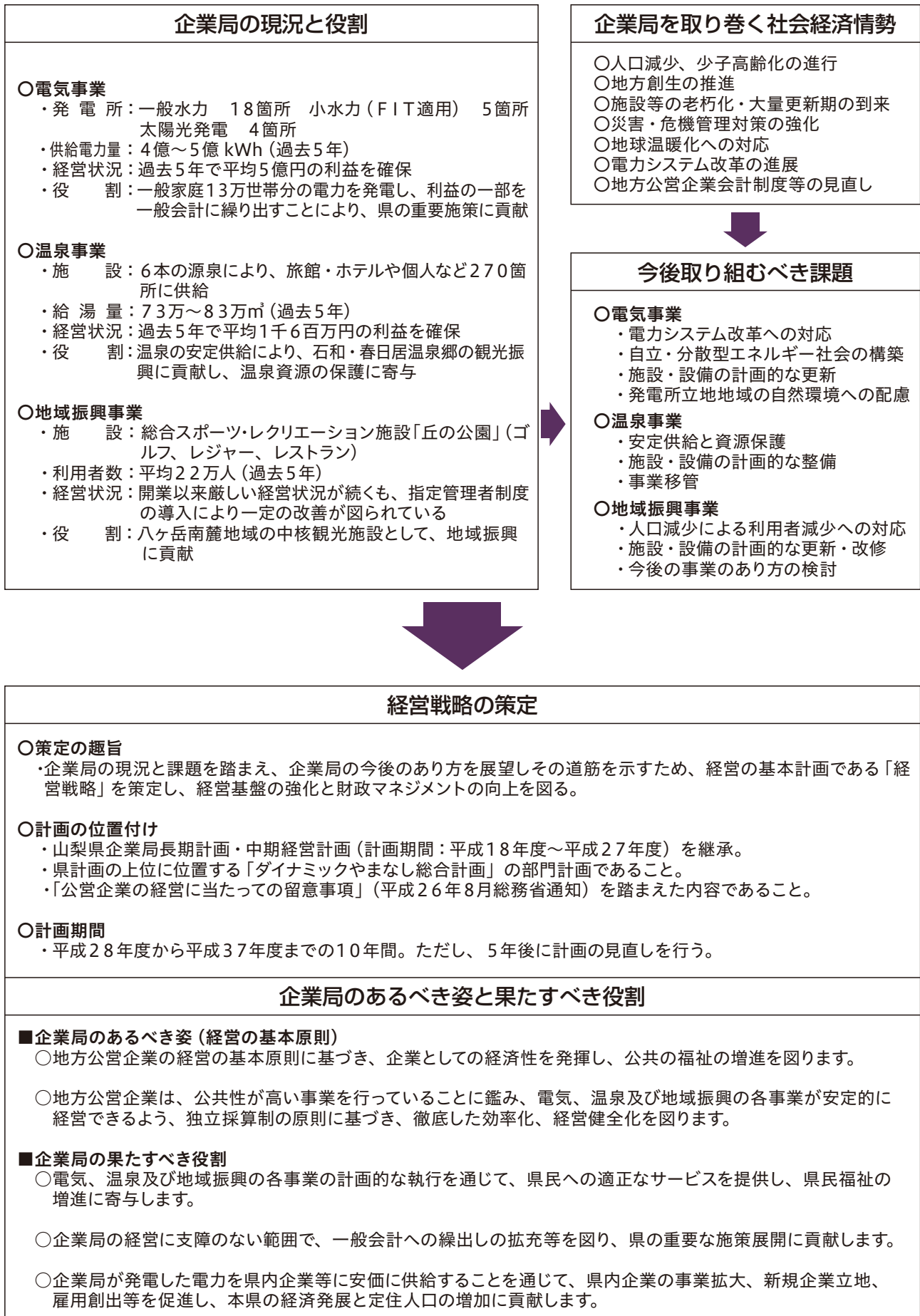
－企業局のあるべき姿－

- 地方公営企業の経営の基本原則に基づき、企業としての経済性を発揮し、公共の福祉の増進を図ります。
- 地方公営企業は、公共性が高い事業を行っていることに鑑み、電気、温泉及び地域振興の各事業が安定的に経営できるよう、独立採算制の原則に基づき、徹底した効率化、経営健全化を図ります。

－企業局の果たすべき役割－

- 電気、温泉及び地域振興の各事業の計画的な執行を通じて、県民へ適正なサービスを提供し、県民福祉の増進に寄与します。
- 企業局の経営に支障のない範囲で、一般会計への繰出しの拡充等を図り、県の重要な施策展開に貢献します。
- 企業局が発電した電力を県内企業等に安価に供給することを通じて、県内企業の事業拡大、新規企業立地、雇用創出等を促進し、本県の経済発展と定住人口の増加に貢献します。

山梨県企業局経営戦略の概要



電気事業の経営戦略

■電気事業の基本的あり方

- 電力システム改革に的確に対応し、電力の安定供給を行うことにより、引き続き、事業の健全経営に努めます。
- クリーンエネルギーの普及促進や小水力発電の開発等に取り組むことにより、地球温暖化防止対策に貢献します。
- 事業で得られた利益を県民に還元し、県民福祉の向上に取り組みます。

■電気事業における経営の基本方針

電力の安定供給 グリーンイノベーションの推進 経営の効率化・健全性の確保 一般行政部門との連携

(主な事業計画)

- ・電力システム改革への対応への検討(当面:「やまなしパワー」の運営 H36年度以降:最適な売電方法等の検討)
- ・発電施設・設備の計画的な整備
- ・グリーンイノベーションの推進(「やまなし小水力ファスト10」の推進)
- ・新規水力発電所の開発の推進
- ・一般行政部門との連携(「やまなしエネルギービジョン」に沿った取組、電気事業の事業遂行に支障のない範囲で一般会計へ繰出し)

温泉事業の経営戦略

■温泉事業の基本的あり方

- 石和温泉・春日居温泉郷の旅館・ホテルや個人などの契約者に、安全・安心で安定した温泉供給を行うとともに、適切な資源保護を図り、地域観光の振興に引き続き寄与していきます。

■温泉事業における経営の基本方針

温泉の安定供給と資源保護 事業移管のあり方の検討 経営の効率化・健全性の確保

(主な事業計画)

- ・温泉施設・設備の計画的な整備
- ・安全・安心な温泉の供給
- ・事業移管のあり方の検討

地域振興事業の経営戦略

■地域振興事業の基本的あり方

- 指定管理者制度による丘の公園の管理運営を継続し、電気事業会計からの借入金を計画的に償還していきます。
- 施設修繕、更新を計画的に進め、多様な県民ニーズに対応した施設運営のあり方を検討し、魅力の向上を図るとともに、八ヶ岳南麓地域の振興に引き続き寄与していきます。

■地域振興事業における経営の基本方針

指定管理者制度の適正な運用 丘の公園の魅力向上に向けた施設運営のあり方の検討 経営の効率化・健全性の確保

(主な事業計画)

- ・丘の公園施設・設備の計画的な更新・改修
- ・外部検討委員会による丘の公園の今後のあり方の検討

※地域振興事業の経営戦略は、今後、施設運営のあり方の検討を予定していることから、その結果に沿って必要な見直しを行う。

経営戦略の推進

- PDCAサイクルに基づく、進行管理
- 各年度の決算終了後に、前年度の達成度の評価を行い、次年度以降の取組に反映

県民福祉の向上

○県民文化の高揚（美術品の購入と県立美術館等への寄託）



ミレーの絵画「種をまく人」
(昭和52年購入)



「夕暮れに羊を連れて帰る羊飼い」
(昭和52年購入)



「落ち穂拾い（夏）」
(平成8年購入)

彫刻など

・ムーア

「四つに分かれた横たわる人体」

・ブールデル

「叙事詩」 等

○一般会計への資金貸付（平成27年度末残高）

・市町村振興資金特別会計 481,000千円

○クリーンエネルギー推進・啓発事業や環境保全事業への資金拠出

自然の恵みから得られた利益の一部をクリーンエネルギーの推進・啓発事業及び環境保全に資する事業を通し広く県民に還元するため、平成17年度から毎年1億円を一般会計に繰り出し、エネルギー対策及び地球温暖化対策の事業を行っています。

○その他、県、市町村交付金等（平成28年度）

・水利使用料（県） 157,535千円
・所在市町村交付金 141,886千円
・県道南アルプス 10,000千円
・早川上流保安林整備事業 5,000千円

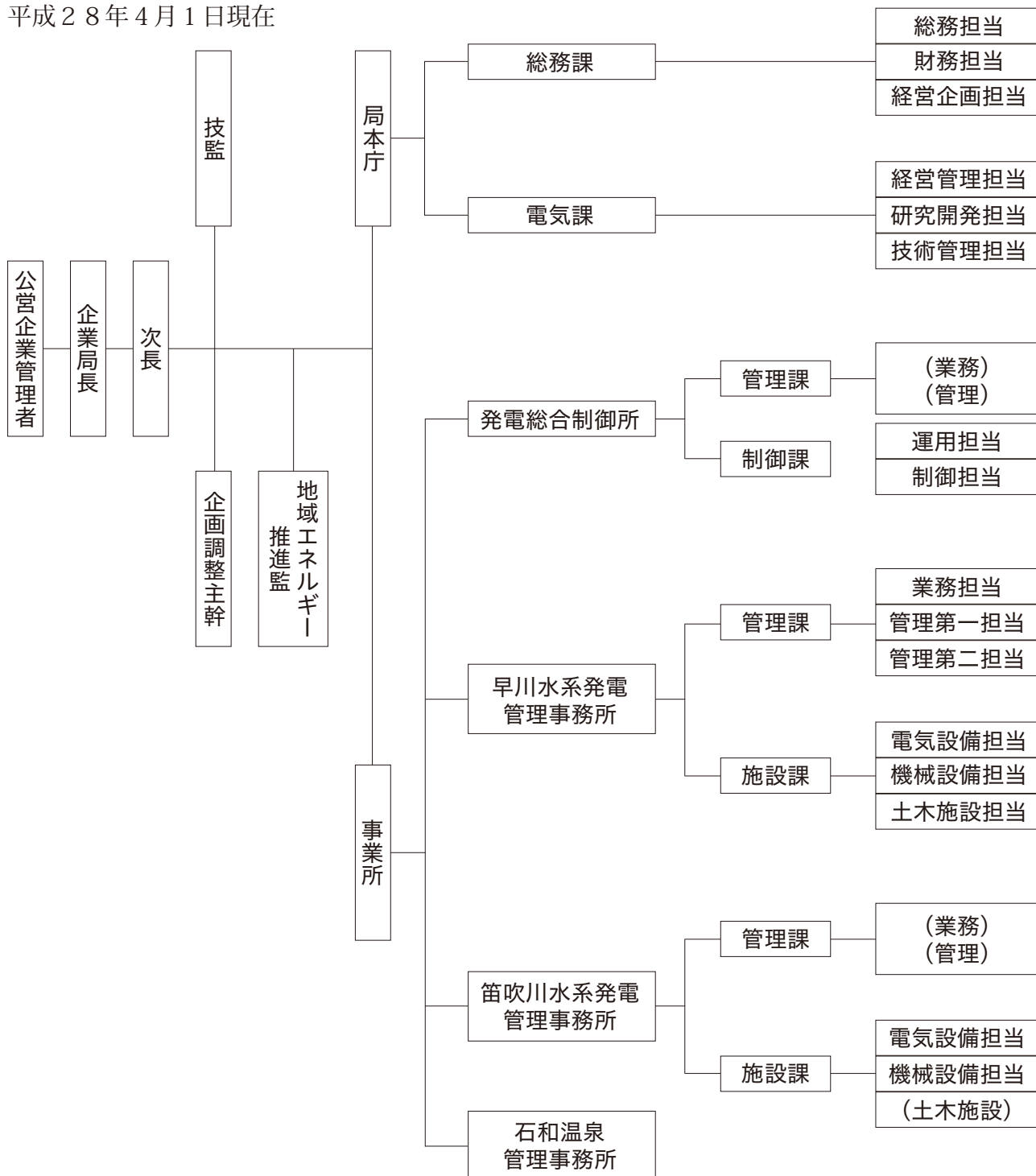
企業局のあらまし

(1) 組織

現在、企業局では、2課4事業所の組織、職員数108名（公営企業管理者、企業局長を除く）の体制のもと、電気、温泉、地域振興の3事業を運営しています。

企業局の組織

平成28年4月1日現在



(2) 事業

企業局では、電気、温泉、地域振興の3事業を展開し、公営企業としての独自性を活かし、県政の重要な一翼を担っています。

事業	概要
電気事業	早川水系や笛吹川水系など23カ所の水力発電所を運営し、出力121,003kW、年間で県内需要の9.6%に相当する、5億2千2百万kWh（平成27年度）の電力を家庭や工場に供給しています。
温泉事業	笛吹市石和町内にある6つの源泉から湧出する温泉を、近隣のホテルや一般家庭に年間798,778㎡（平成27年度）供給しています。
地域振興事業	北杜市高根町清里に、ゴルフ場、温泉利用施設、テニスコート、グラウンド・ゴルフ場、オートキャンプ場、レストランなどを備えた、総合スポーツ・レクリエーション施設「丘の公園」を指定管理者が運営しています。

(3) 事業施設



年表

年	月	日	内 容
昭和			
26	4		県商工労働部電力課、早川流域の県営発電事業計画を樹立
29	1	27	西山発電所建設事務所設置（甲府市）
	6		西山発電所建設事務所、現地に開設（早川町西山）
	11	5	西山発電所起工式
30	11	6	西山ダム定礎式
	11	16	発電事業室設置
31	9	4	山梨県営電気事業認可
	12	15	西山ダム湛水式
32	3	15	西山発電所、東京電力への試験送電開始
	4	1	西山発電所設置（事務所）
	4	9	西山発電所完成、営業運転開始
	6	1	西山発電所完成式（県民会館大ホール）
	10	1	県営奈良田発電所建設事務所設置
33	1	1	発電事業室を廃止、電気局設置（電気事業に地方公営企業法の全部を適用）
34	8	14	建設中の奈良田第二発電所台風7号により消失
	11	21	奈良田発電事業の計画変更案決定（第二発電所の位置を変更）
35	9		土木部において富士山有料道路事業の調査を開始
36	1		石和町で温泉が湧出し青空温泉として有名になる
	4	1	県営富士山有料道路事業計画案決定（延長29.5km 幅員8m）
	8	1	道路局設置（有料道路事業に地方公営企業法の全部を適用）
	8		県営富士山有料道路建設事務所設置
	9	10	奈良田第一発電所完成 営業運転開始
	9	27	奈良田第二発電所完成 営業運転開始
	11	16	野呂川発電所建設事務所設置
37	4	1	県温泉開発条例施行
	6	26	石和温泉第1号源泉ボーリング起工
38	2	5	石和温泉第1号源泉完成（57℃ 毎分4,000ℓ 湧出）
	3	20	石和温泉第2号源泉ボーリング起工
	8	1	県営御坂トンネル有料道路事業の調査を開始
	10	15	石和温泉第2号源泉完成（56.5℃ 毎分2,200ℓ 湧出）
	12	1	県営石和温泉給湯開始
	12	28	野呂川発電所完成、営業運転開始
39	3	31	県営富士山有料道路建設事務所廃止
	4	1	県営富士山有料道路管理事務所設置
	4	1	富士山有料道路開通式（供用開始）
	4	9	石和温泉第3号源泉ボーリング起工

年	月	日	内 容
昭和			
39	9	10	石和温泉第3号源泉完成（52℃ 毎分2,600ℓ 湧出）
	11		県営野呂川発電所建設事務所廃止
40	1	13	石和温泉第4号源泉ボーリング起工
	2		県営御坂トンネル有料道路建設事務所設置
	4	22	御坂トンネル有料道路起工式
	4	23	石和温泉第5号源泉ボーリング起工
	5	14	石和温泉第4号源泉完成（59.5℃ 毎分2,200ℓ 湧出）
	7	26	石和温泉第5号源泉完成（58℃ 毎分2,800ℓ 湧出）
	8	1	企業局発足（電気局と道路局が合併）
	10		企業局に開発課を新設して、知事部局の県有地開発課及び温泉事業を移管、現地に県営石和温泉管理事務所を設置
41	3	19	日本電化工業株式会社と7発電施設譲受渡契約成立
	4	1	笛吹川水系発電管理事務所設置
	11	16	御坂トンネル貫通式
42	3	31	県営御坂トンネル有料道路建設事務所廃止
	4	1	県営御坂トンネル有料道路管理事務所設置
	4	7	御坂トンネル有料道路開通式（供用開始）
43	4	1	早川水系西山、奈良田、野呂川の各発電所を統合し、早川水系発電管理事務所を設置
	10	1	県営河口湖大橋有料道路建設事務所設置
	11	30	河口湖大橋有料道路起工式
44	4	30	御坂トンネル有料道路換気装置設置工事完成
	5	1	御坂トンネル有料道路全国初めてのトンネルラジオ放送開始
45	2	11	御岳昇仙峡有料道路起工式
	3		石和温泉加熱装置設置
	4	1	県営御岳昇仙峡有料道路建設事務所設置
	11	21	河口湖大橋閉合式
46	3	27	甲府精進湖有料道路起工式
	3	31	県営河口湖大橋有料道路建設事務所廃止
	4	1	県営甲府精進湖有料道路建設事務所設置
	4	1	県営富士山有料道路管理事務所を廃止し、県営河口湖富士線有料道路管理事務所を設置
	4	19	河口湖大橋有料道路開通式（供用開始）
	12		笛吹川新規発電計画調査開始
47	3	31	御岳昇仙峡有料道路竣工式
	3	31	県営御岳昇仙峡有料道路建設事務所廃止
	4	1	県営御岳昇仙峡有料道路管理事務所設置
	4	1	御岳昇仙峡有料道路開通式（供用開始）
	11	29	石和温泉の給湯を循環式とし、従量制給湯方式とする
48	3	28	甲府精進湖有料道路竣工式
	3	31	県営甲府精進湖有料道路建設事務所廃止

年	月	日	内 容
昭和			
48	4	1	県営甲府精進湖有料道路管理事務所設置
	4	1	甲府精進湖有料道路開通式（供用開始）
	4	1	県営笛吹川水系発電建設事務所設置
49	4	1	県営愛宕トンネル有料道路建設事務所設置
	4	1	県営八ヶ岳公園有料道路建設事務所設置
50	3	28	広瀬、天科発電所完成、営業運転開始
	3	28	笛吹川水系発電管理事務所新規3発電所を廃止
	5	30	袖ノ木発電所完成、営業運転開始
	6	2	八ヶ岳公園有料道路起工式
	11	12	笛吹川水系3発電所竣工式
51	1	14	愛宕トンネル貫通式
	3	31	県営笛吹川水系発電所建設事務所を廃止
	10	1	県営八ヶ岳公園有料道路管理事務所設置
	10	9	八ヶ岳公園有料道路開通式（供用開始）
52	3	29	愛宕トンネル有料道路竣工式
	3	31	県営八ヶ岳公園有料道路建設事務所廃止
	3	31	県営愛宕トンネル有料道路建設事務所廃止
	4	1	愛宕トンネル有料道路開通式（供用開始）
	4	1	有料道路管理体制を合理化し、6管理事務所を3管理事務所に統合
	4	1	地域振興事業会計設置
	11	14	公営企業20周年記念事業としてミレーの「種をまく人」他を購入
53	9	8	山中湖野営場建設着工
	12	6	八ヶ岳公園有料道路沿線レストハウス「編笠」及び「天女」建設着工
54	7	21	山中湖野営場完成開場式
	7	26	レストハウス「編笠」及び「天女」完成開業式
55	4	1	県営湯島発電所建設事務所設置
	10	6	湯島発電所起工式
57	3	31	笛吹川水系藤木外6発電所改良工事（3ヶ年継続工事）完成
58	3	31	湯島発電所完成、建設事務所廃止
	4	1	湯島発電所営業運転開始
	4	1	奈良田第三発電所建設事務所設置
	5	9	湯島発電所竣工式
	11	24	奈良田第三発電所起工式
	12	10	丘の公園建設事務所設置
	12	16	丘の公園起工式
60	3	31	奈良田第三発電所完成、建設事務所廃止
	4	1	奈良田第三発電所営業運転開始
	5	13	奈良田第三発電所竣工式

年	月	日	内 容
昭和			
60	10	1	丘の公園管理公社設置
	11	12	丘の公園記念植樹祭（こぶし）
61	1	7	富士山有料道路料金徴収所移転竣工式
	3	31	丘の公園建設事務所廃止
	4	1	丘の公園事務所設置
	4	1	川浦発電所建設事務所建設
	4	1	山中湖野営場を知事部局へ移管
	7	1	丘の公園竣工式（第一期工事）
	7	2	丘の公園開業
	8	5	公営企業30周年記念事業としてブルデルの「叙事詩」を購入
	9	4	丘の公園彫刻の森除幕式
	12	4	県道河口湖富士線「日本の道百選」顕彰碑除幕
63	3	31	川浦発電所建設事務所廃止
	4	1	御坂精進有料道路管理事務所を移転
	4	1	下釜口発電所営業運転開始（昭和63年2月川浦発電所名称変更）
	4	14	下釜口発電所竣工式
	4	19	琴川第一発電所改修工事完了
平成			
元	2	23	琴川第二発電所改修工事完了
2	4	27	愛宕トンネル換気設備竣工式
	6	23	丘の公園増設（ハヶ岳）コース竣工式
	7	1	丘の公園ハヶ岳コースオープン
3	4	11	丘の公園温泉試掘調査完了
	11	26	藤木発電所改修工事完了
4	4	1	塩川発電所建設工事着手
6	2	1	西山発電所改修工事完了
	3	29	太陽光発電施設建設工事完了
	4	1	塩川発電所建設・釜無川発電調査事務所設置
	4	29	まきばレストランオープン
	7	20	富士山有料道路五合目総合管理センター開所式
	11	2	富士山有料道路周辺環境等整備事業竣工式
	11	12	丘の公園温泉利用施設建設工事着手
	11	19	御坂精進有料道路管理事務所廃止
	11	20	御坂トンネル・甲府精進湖有料道路無料開放式
	12	21	丘の公園オートキャンプ場建設工事着手
7	7	27	塩川発電所起工式
8	3	14	公営企業40周年記念事業としてミレーの「落ち穂拾い（夏）」を購入
	3	15	奈良田第一発電所改修工事完了

年	月	日	内 容
平成			
8	3	20	愛宕トンネル有料道路無料開放式
	3	25	丘の公園温泉利用施設建設工事完了
	3	25	丘の公園オートキャンプ場建設工事完了
	3	31	丘の公園事務所廃止
	4	19	丘の公園オートキャンプ場オープン
	4	26	丘の公園温泉利用施設「アクアリゾート清里」営業開始
	10	29	公営企業40周年記念事業として舟越保武作のブロンズ「花持つ少女」を購入
	11	18	発電総合制御所（クリーンエネルギーセンター）起工式
9	3	31	御岳昇仙峡有料道路無料開放式
	4	1	有料道路事業を道路公社へ移管
10	1	30	山梨県企業局将来ビジョン（企業局経営指針）策定
	3	15	塩川発電所建設工事完了
	3	30	発電総合制御所竣工式
	4	1	発電総合制御所設置
	10	31	塩川発電所竣工式
11	5	30	アクアリゾート清里開館3周年記念事業として「アクアリゾート清里ファンファンウォーク」を開催
	7	1	早川水系取水口監視所設置
13	3		新地域振興事業会計経営健全化計画を策定
	3	31	塩川発電所管理・釜無川発電調査事務所廃止
	10	17	レストハウス「編笠」事業廃止
14	1	31	石和温泉第6号源泉ボーリング工事着手
	6	2	石和温泉第6号源泉ボーリング工事完了
15	3	31	石和温泉第6号源泉完成（67℃ 毎分340ℓ 湧出）
	10	31	奈良田地区排水対策事業完成
16	3	31	（財）丘の公園管理公社解散
	4	1	「丘の公園」に指定管理者制度及び利用料金制を導入
17	1	26	クリーンエネルギーセンター普及啓発活動が、第9回新エネ大賞（新エネルギー財団会長賞）を受賞
	4		電気事業の利益を広く県民に還元するため、1億円を一般会計（環境保全事業等）へ繰り出しを開始
	4	1	琴川第三発電所建設の現地工事に着手
18	3		公営企業経営の総点検を実施
	4		公営企業50周年記念事業として、シンポジウム等を実施
	10	17	山梨県企業局長期計画・中期経営計画を策定
20	3	21	「早川上流域水源かん養機能強化事業」（一般会計）経費の一部を負担開始
	3	25	琴川第三発電所建設工事完了
	4	1	琴川第三発電所営業運転開始
	11	11	電気課内に「小水力発電開発支援室」を設置
21	1	27	甲府市米倉山において、出力約1万キロワットの太陽光発電所を建設するメガソーラー発電計画を共同で進めていくことについて東京電力㈱と合意

年	月	日	内 容
平成			
21	3	14	クリーンエネルギーセンター普及啓発活動が、第18回エネルギー広報活動・広報施設表彰を受賞
	11	6	米倉山地点におけるメガソーラー発電計画に関する基本協定の締結
22	2	18	塩川第二発電所工事完了
	2	19	若彦トンネル湧水発電所工事完了
	3	27	若彦トンネル湧水発電所の起動式
	3	29	塩川第二発電所の起動式
	4	1	塩川第二発電所、若彦トンネル湧水発電所営業運転開始
	5	19	米倉山地点におけるメガソーラー発電計画運転時期の変更
	10	22	米倉山太陽光発電所太陽光パネル等設置工事起工式
23	4	4	深城発電所建設の現地工事に着手
24	1	27	米倉山太陽光発電所及び同PR施設「ゆめソーラー館やまなし」完成式典
	1	28	米倉山太陽光発電所PR施設「ゆめソーラー館やまなし」開館
	2	13	深城発電所建設工事完了
	4	1	深城発電所営業運転開始
	7	11	「次世代フライホイール蓄電システム技術開発」がNEDO補助事業に採択
26	8	28	大城川発電所工事完了
	9	1	大城川発電所の起動式
	9	16	米倉山実証試験用太陽光発電所工事完了
27	4	1	朝穂堰浅尾発電所営業運転開始
	7	22,23	「クリーンエネルギー水電解」及び「純水素型燃料電池」実証試験の成果報告会
	8	1	丘の公園グラウンド・ゴルフ場オープン
	9	3	「次世代フライホイール蓄電システム」実証試験施設完成式
	10	27	東京電力（株）と「やまなしパワーの運営に関する基本協定」を締結
28	3	11	「改良型ニッケル水素蓄電システムの開発」がNEDO補助事業に採択
	3	29	山梨県企業局経営戦略を策定
	4	2	「やまなしパワー」供給開始
	6	27	温泉施設改修工事完了
	9	6	「やまなしパワーによる安価な電力の供給」が全国知事会先進政策バンクの優秀政策として表彰
	9	27	P2Gシステム技術開発及び実証研究について、NEDO委託事業に採択
	11	4	P2Gシステム技術開発及び実証研究を推進するため、県と民間企業3社が協定を締結
	11	25	「改良型ニッケル水素電池システム」実証試験施設開所式
29	3	28	米倉山太陽光発電所PR施設 CLTパネル工法を利用した屋外休憩施設完成式



山梨の公営企業60周年記念誌

■ 山梨県企業局 ■

平成29年 3月

甲府市丸の内一丁目 6番 1号

Tel.055-223-5382 (代表)

